

スーパーサイエンスハイスクール指定校 | 国際バカロレア(IBDP)候補校スーパーグローバルハイスクール・アソシエイト指定校

茗溪学園中学校高等学校

茗溪で学ぶこと。身につくもの。

「人類ならびに国家に貢献しうる『世界的日本人』を育成すべく、

知・徳・体の調和した人格の形成を図り、特に創造的思考力に富む人材をつくる」 茗溪学園での教育活動は、すべて、この「建学の理念」に沿って行われています。 自分が本当にやりたいことを見つけて、追求し、

知的で、たくましく、創造性に満ちた人物となって、

世界を舞台に伸び伸びと活躍する、

そのための基礎をつくるための学習の場、それが茗溪学園です。

将来の基礎をしっかりと築くうえで、茗溪学園が特に大切に考えている 茗溪のアイデンティティとも言えるのが、右にあげる7つです。

茗溪で過ごす6年間は、この7つを自分のものにするための期間だと言えます。 茗溪の授業が、他の学校とはちょっと異なるユニークな形態のものが多いのも、 この目的を何よりも優先しているからです。

よい大学や会社に入るためだけではない。

自分が本当にやりたいことを見つけ、将来大きな舞台で思いきり活躍するための基礎となる「知識」「体験」「考え方」――それらを、とことん学び、身につける。 それが、茗溪学園の6年間です。

- Inquirer | 探究する気持ち
- Knowledgeable | 豊かな知恵
- **Communicator** | 通じ合う方法
- **Open-minded** | 開かれた心
- Balanced | 心と体の均整
- Risk-taker | 挑む勇気
- **Thinker** | 考え抜く姿勢

Meikei — Making the Difference

















Meikei – Making the Difference

茗溪学園の 特色ある教育プログラム

茗溪学園6年間の学びのフェーズ

茗溪学園では、中学・高校の6年間を一体的にとらえ、大きく3つの期間に分けて 段階的に学びを進化させていきます。

基礎力養成期

興味関心の掘り起こし、実験や フィールドワークによる実体験 の重視、思考法や計算・証明法、 討論法や発表法などの基礎的な 方法の養成期

1年目 2年目 (中学1年) (中学2年)

展開期

基礎力養成期を踏まえて、深い 理解や高度な事象への考察、解 釈を目指し、思考法や発表法な どにも応用力を求め、各科目・ 分野に対する興味関心を深める

3年目 4年目 (中学3年) (高校1年)

実践期

思考法や発表法などスタディ・ス キルズの自主的な実践を行うとと もに、自身の興味関心などの自 己理解から職業観を育て、進学 についての意識を明確にする、大 学受験に対応した実力の定着期

5年目 6年目 (高校2年) (高校3年)

グローバルコース G1 クラス

グローバルコースG2クラス

国際バカロレア ディプロマプログラム

(IBDP) *2017年度から開始予定

スーパーサイエンスハイスクール (SSH)

茗溪学園の6年間で学ぶこと、身につくもの

6年間の学びを支えるさまざまな教育プログラムを中心に、具体的な学園生活についてご紹介します。

国際教育

→P20 Education

SSH

(スーパーサイエンスハイスクール)

 \rightarrow P22

進学実績 Destination →P24 of Graduates

クラブ活動実績

→P25 Club Activities

茗溪寮生活

 \rightarrow P26

卒業生が語る 学園生活

おもな年間行事

→P30 School Events

施設案内

 \rightarrow P31

Global Education

国際教育

高い英語力の維持発展を実現する 「中学グローバルコース」が 2015年度よりスタートしました!

茗溪学園では、2015年度より新しく「グローバルコース」を開設しました。

グローバルコースは、高い英語力を維持発展させることを希望する者、または高等学校での国際バカロレア・ディプロマプログラム(IBDP)に関心があり、その修得に意欲のある者を対象とします(国際バカロレア・ディプロマプログラムについては、右をご参照ください)。

このコースの生徒は通常の学級に在籍しますが、2017年に本校で開設予定の国際バカロレア・ディプロマプログラム (IBDLDP) 受講も視野に入れ、中学校3年間の英語授業は「特別クラス」(週6時間の外国人教員による授業及び週1時間の日本人教員による授業)を受講します。

この英語特別クラスは、2つのクラスに分かれます。 G1クラス:英検2級程度以上の英語力がある生徒対象 G2クラス:英検3級~準2級程度の英語力がある生徒対象

「グローバルコース AO入試」 について

上記グローバルコース開設に伴い、グローバルコース AO入試を実施します。グローバルコース AO入試で求め られる英語力の目安は、「英検2級」程度です。

AO入試で合格した場合は、G1クラスを受講することが確約されます。

この入試は「専願」入試、「併願」入試の2種類があります。試験科目は、専願・併願ともに、英語エッセイテスト(50分)、英語による面接を実施します。

なお、AO入試以外の入試で、グローバルコースの受講を希望する場合は、願書出願の際に「グローバルコース」欄に希望するコースを明記してください。AO入試以外での合格者には、「入学前オリエンテーション」(2月19日)の際に、英語力試験を実施し、英語特別クラス受講者を決定します。

現在「国際バカロレア・ ディプロマプログラム (IBDP)」候補校。 2017年度の認定取得に向け、 順調に準備を進行中。

国際バカロレア (IB: International Baccalaureate)とは、本部をジュネーブに置く国際バカロレア機構が提供する 国際的な教育プログラムのことです。1968年に開設されて以来、チャレンジに満ちた総合的な教育プログラムとして、さまざまな国の教育現場で注目を集め続けています。

国際バカロレアの目的は、世界の複雑さを理解して、そのことに対処できる生徒を育成し、未来へ責任ある行動をとるための態度とスキルを身に付けさせることです。そういった資質を持った人材を育成するため、国際バカロレアでは、生徒の年齢(3歳~19歳)に応じて4つの教育プログラムを提供。2016年2月1日現在、世界140以上の国・地域の4,420校(日本国内では28校)で実施されています。

茗溪学園では、国際バカロレアのプログラムのうち16歳~19歳を対象としたディプロマプログラム (DLDP)を導入するため、2014年から準備を進め、現在国際バカロレア (IBDP) 候補校となっています。IBDPを実施している学校は、世界で4,420校、日本国内でIBDPを実施している学校は13校(2016年2月1日現在)。茗溪学園は、2017年度には国際バカロレア (IBDP) 認定校となり、プログラムをスタートさせる予定となっています。

IBDPの所定のカリキュラムを2年間履修し、最終試験を経て所定の成績を収めた生徒は、国際的に認められる大学入学資格(国際バカロレア資格)を取得することが可能です。また、日本の大学においても新たにIBDPを活用した入試を導入する動きが、筑波大学、慶應義塾大学などをはじめとして進んでいます。

海外で育んだ個性を 伸ばすための「帰国生支援室」を設置。 きめ細かな対応は、 歴史と実績ある茗溪ならでは。

帰国生や交換留学生が多いことに加え、

日常的に国際感覚が磨かれていきます。

世界に開かれた教育プログラムが

多数用意されています。 茗溪学園の6年間を通して

茗溪学園の帰国生の受け入れの歴史は古く、毎年世 界中の国々から帰国した生徒が入学しています。

帰国生たちが在留先で身につけた学校生活に対する 積極性や多様なものの見方が、茗溪学園のダイナミズム を形づくり、独自の校風を培う原動力となってきたといっ ても過言ではありません。

帰国生の個性が十分に生かされ、より充実した学園 生活を送れる環境を備えるため、茗溪学園では「帰国 生支援室」を設け、いっそう積極的かつきめ細かな支援 を実現する体制を整えています。

具体的には、国語特別クラスを少人数体制で実施したり、その他の科目についても学習支援や補習を用意。また、定期的なカウンセリングを行い、学習や生活上の問題が見つかったときには、生徒、教員、保護者の間で問題を共有し、解決に向かうよう努めています。

2016年現在、茗溪学園の全校生徒1,485名のうち、帰国生(海外での就学歴が1年以上ある生徒)は約200名在籍し、在留先もアメリカやヨーロッパだけでなく、中東、アジア、中南米、北欧など35ヵ国に及びます。

世界各国の文化を体験した生徒たちが、それぞれの 個性を存分に発揮しながら、躍動感あふれる茗溪での 日々を送っています。 「留学制度」利用は、 全国でもトップクラス。 生徒の心の準備を見極め、 世界へと送り出す。

帰国生の多さに加え、交換留学生が随時学校を訪れるなど、茗溪学園には、世界との交流が日常的にあります。そういった環境に身を置くことで、日本・海外という心理的な壁を容易に払拭できる土壌が、6年間を通じてさまざまな場面で培われていきます。

より強く外国の文化や歴史に興味を抱いた生徒には、直接体験する機会を持ってもらうため、UWC、AFS、YFU、EILなどの、歴史を持った信頼のおける留学プログラムを通じて、留学生として送り出す制度も整えています。

ただし、茗溪学園では、単に希望者を海外に多く送り出すということはしません。事前の校内選考を行い、なぜ留学を志望するのか、なぜその国に行きたいのか、動機を作文にまとめさせ、さらに面接を行って留学への心構え・準備がきちんと整っているかを確認します。この過程を経ることで、生徒が外国の文化の中で生活することの意義や困難さを十分認識しているかどうかを見極めます。その覚悟が整って初めて、充実した留学生活が実現すると茗溪学園では考えているからです。

過去の留学制度利用者は、2015年度までで、UWC 52名、YFU63名、AFS67名、ロータリー27名など合わせて217名となっており、UWCの利用者は全国の高校のなかでもトップとなっています。





21

茗溪模擬国連

スーパーサイエンスハイスクール

最先端の理数教育を行う SSH(スーパーサイエンスハイスクール)

SSHとは、未来を担う科学技術系の 人材を育てることをねらいとした、文部 科学省の取り組みです。「科学への夢」 や「科学を楽しむこころ」を育み、生徒 の個性と能力を一層伸ばしていくこと を目指しています。SSHに指定された 中学校・高等学校は、文部科学省や関 係する機関の支援を受けながら、理数 系教育の充実をはかります。

茗溪学園は、2011年春にSSH指定 校になり、2016年まで5年間をかけて、 科学技術にまつわるさまざまなイベン トやカリキュラムを実施してきました。



茗溪学園の独自プログラム 「GET」を立ちあげ、 SSHへの取り組みを強化。

茗溪学園では、SSH指定校としての 活動実績をさらに高め、内容の充実をは かるために、独自のプロジェクトを立ち 上げています。そのプロジェクトが「つく ば発GET Meikei Pioneer Project |。 「GET」とはGlobal Explore Tsukuba の頭文字をとったもので、この3つの言 葉によって定義されるプログラムを推 進することで、SSHの取り組み、最先 端の理数系教育をより高次に展開して いきます。

「Global Program 国際的科学教育」

創立以来国際教育に取り組み、実 績をあげてきた茗溪学園ならではの国 際性を生かし、高次の科学的概念を日 本語で獲得しながら、同時に身につけ た高い英語力を、英語科学論文の読 解や英語の科学研究プレゼンテーショ

ン・ディスカッションなどに応用します。

[Explore Program 科学研究能力の

SSH@GE'I 世界に羽ばたく、国際科学研究の パイオニアとなる人材育成

育成を目指した6年一貫理数系教育] 茗溪学園の「実物に触れる」「フィー

ルドワークを重視する | 教育を押し広 げる形で実験・観察に重きを置き、論 文収集方法・論文読解力の向上も含め た研究方法、プレゼンテーション技術 など総合的な学習の技術(スタディ・ス キルズ)を育成することを目的に、先進 的な6年一貫理数系教育カリキュラム を開発・実践します。

Global Program 国際的科学教育

つくば発 高大連携·高研連携

6年一貫理数系カリキュラム開発

筑波研究学園都市に位置するという

による、最先端科学の体験

茗溪学園の地の利を生かし、従来から 筑波大学を中心に取り組みを続けてき た高大連携・高研連携をさらに拡充し、 国内外の最先端の優れた研究に触れ させることで、理数系に対する進路意

「Tsukuba Program 筑波大学・茗

溪会を中心とする高大連携・高研連携

つくば発GET Meikei Pioneer Project

識や職業観を養います。

sukuba Program

Explore Program

国際的な研究活動を視野に入れ、 英語を使った発表や筑波大学・研究機関との連携など 独自のプログラムを開発しながら、 実験や観察、フィールドワークを中心に 理論的思考力や探求能力を身につけていきます。



国内外のさまざまな研究施設や実地におもむき、 実験や調査研究、研究発表会を実施。



GETプロジェクトは、茗溪学園の中 学1年から高校1年までの全員、そし て高校2年と3年は理系選択者を対象 に行われます。

具体的な内容としては、英語によるプ レゼンテーションへの取り組みを海外 の学校と共同で行うプログラムや、海外 の研究施設への訪問、サマースタディ ゾーンやウィンタースタディゾーンにお ける出張講義や実験プログラム、屋久 島巡検やオーバーナイトスタディなどの 実地調査、筑波大学で行っているSS 研究発表会などを実施しています。

「これまでの主な活動一覧]

- ·SS数学I(中1)
- SS数学Ⅲ/SSデータ解析(中3)
- ·生命倫理/科学倫理(中3)
- サマースタディゾーン活動 科学講演会(高1)講師:国立環境研 究所 白井先生、筑波大学 清水副学長 他/(高2)立教大学 阿部先生 他
- ・筑波山巡検(中2)かすみがうら市雪 入地区周辺調査 他
- ・科学甲子園ジュニア茨城県予選(11
- ·数学甲子園本選(4名出場)

- ・日本生物学オリンピック予選(4名出
- ·SS Geo Tour 屋久島研修(12名参加)
- ·Science Workshop (米軍基地内 学校との共同研究体験)(23名参加)
- ·SS Overnight Study 「天体写真講 座 | 花立自然公園(26名参加)
- ・科学英語上級 講師: 筑波大学 メ イヤーズ先生(5名参加)
- ・科学倫理 水俣巛検(3名参加)
- ・科学倫理ワークショップ 筑波大学 鬼界先生(14名参加)
- · 分子遺伝学実習
- ・International Survey Tour スイス CERN (6名参加)
- · International Survey Tour 米国 デスバレー・ジョンソンスペースセン ター (8名参加)
- · Presentation with Overseas Fellowship 中国上海(3名参加)
- ・クロスカルチュラルトーク JICAより 研修生・留学生を招聘

世界を舞台にしたコンテストへの 出場など、着実な成果に結実。

GETプロジェクトの成果は学会での 発表や科学研究の世界コンテストであ るIntel ISEFへの出場など、すでに多 くの場所で現れています。

「GETプロジェクト科学分野での実績]

- ・高校生科学技術チャレンジ (JSEC) において「審査委員奨励賞」を受賞 (高3男子)。
- ・同生徒は2014年5月、米国で開催 されたIntel ISEF(国際学生科学技術 フェア) に派遣され、研究成果を発表。

- ・SSH生徒研究発表会において、「和 算を現代数学から見る| というテーマ でポスター発表を実施(高3男子)。
- ・同生徒は、2014年8月に茨城県つく ば市で開催された特定非営利法人数 理の翼主催「第35回数理の翼 夏季



- セミナー| に選抜され、発表を行う。
- ・「数学甲子園 | 予選を勝ち抜き、本選 に出場(高3男子4名)。
- ・「第6回日本地学オリンピック大会」 予選を勝ち抜き、本選に出場(高3女 子1名·高2男子1名)。
- ・SS研究「電動カメラスライダーの製 作」が、足利工業大学主催「未来を拓 く技術・アイデアコンテスト2014|有 線制御部門において「最優秀賞」を 受賞(高2男子)。
- ・「第59回日本学生科学賞 | 高校の部 3等に入選(高2男子)。

Destination of Graduates Club Activities

進学実績

生徒一人ひとりが将来の目標を実現できるようきめ細かな進路指導を徹底しています。

クラブ活動実績

13の運動部と12の文化部、5つの同好会に約9割の生徒が所属。 活発な活動が学園生活をさらに充実させています。

2016年度進学	実績	広島大	1名	成蹊大	8名	産業医大	1名
国内・海外大学合格実	※ 績	防衛医科大	1名	成城大	4名	北里大(医)	2名
		茨城県立医療大	3名	明治学院大	12名	杏林大(医)	1名
[国公立大学]		他		日本大	42名	東京女子医大	1名
東京大	1名	国公立大学合格者約	総数 67名	専修大	10名	東邦大(医)	1名
京都大	1名			東洋大	16名	帝京大(医)	1名
北海道大	2名	[私立大学]		駒澤大	6名	独協医科大	2名
東北大	2名	早稲田大	27名	芝浦工大	14名	埼玉医科大	1名
一橋大	1名	慶應義塾大	9名	学習院女子大	2名	他	
大阪大	1名	上智大	17名	清泉女子大	2名	医学部医学科 (国	公立・私立)
東京外語大	1名	明治大	16名	他		合格者総数	21名
筑波大	16名	青山学院大	7名	私立大学合格者総	数589名		
千葉大	4名	立教大	22名			歯学部(国公立・私	(立)
東京医科歯科大	1名	中央大	16名	[医学部医学科(国	公立大学・	合格者総数	5名
東京農工大	1名	法政大	33名	私立大学)]			
東京芸術大	1名	東京理科大	17名	筑波大 (医)	1名	薬学部(国公立・私	(立)
電気通信大	1名	学習院大	9名	佐賀大 (医)	1名	合格者総数	49名
横浜国立大	2名	国際基督教大	2名	弘前大 (医)	1名		
国際教養大	2名	津田塾大	3名	琉球大 (医)	1名	[海外大学]	
東京海洋大	1名	東京女子大	4名	福島県立大(医)	1名	海外大学合格者総	数 4名
金沢大	1名	日本女子大	9名	東京医科大	1名		
岡山大	1名	聖心女子大	2名	自治医大	1名		

海外大学進学実績 2015年4月1日までの累計		[イギリス] ロンドン大 他	4名	[アジア] 台湾大、高麗大、 北京外語大 他	3名
[アメリカ] 州立大 (イリノイ大、ミシガン大 他) 私立大	11名	[オーストラリア] クイーンズランド大 他	8名	[その他の地域] カナダ、チェコ、ハンガリー、 ニュージーランド 他	7名
(コーネル大、MIT 他) カレッジ 他	24名 29名	[フランス] コンセルヴァトアール 他	2名	海外大学進学者総数	88名

留学制度利用者 2015年4月1日までの累計			UWC留学者の 大学進学実績 2015年4月1日までの累計				
UWC YFU AFS ロータリー その他 (EILを含む) 留学制度利用者総数	52名 63名 67名 27名 8名		「アメリカ」 ハーバード大 MIT コーネル大 ペンシルベニア大 カーネギーメロン大 バーナード大	1名 1名 1名 1名 1名			
			· · / IX	* "LI			

2留学者の		アールハム大	1名	トレント大	1名
選手者の 進学実績			141		-14
∓4月1日までの昇	計	[イギリス]		[国内]	
		ケンブリッジ大	2名	東京大(大学院)	1名
ノカ]		オックスフォード大	1名	京都大	14名
バード大	1名	ロンドン大	5名	筑波大	2名
	1名	エジンバラ大	1名	横浜国立大	1名
ル大	1名	セントアンドリュース	大1名	慶應義塾大	6名
/ルベニア大	1名			上智大	1名
ギーメロン大	1名	[カナダ]		中央大	1名
ード大	1名	マギール大	3名		

運動部

約6割の生徒が所属。全国レベルで活躍する部が多く、校技でもあるラグビーや剣道は全校生が授業でも行う。体操、バドミントン、テニスは中学全国大会や高校インターハイなどに連続出場を果たしている。

ラグビー部一中学:全国大会出場多数・優勝1回 | 高校:全国大会出場多数・優勝1回・3位2回

剣道部一中学: 全国大会出場多数、東日本選抜大会優勝2回 | 高校: インターハイ出場、関東大会出場(団体・個人)多数

柔道部一中学:全国大会出場 | 高校:インターハイ出場

器械体操部一中学:全国大会出場 | 高校:インターハイ出場

バドミントン部一中学:全国大会出場 | 高校:インターハイ出場

テニス部一中学:全国大会出場多数 | 高校:インターハイ・全国 選抜大会出場多数

バスケットボール部ー中学・高校ともに県大会を目指し、チームワークよくまとまって練習に励む

バレーボール部一中学・高校女子、高校男子が活動

卓球部一専用練習場で県大会進出を目指す

水泳部一全国大会、国体などに出場

サッカー部一第2グラウンドに専用サッカー場あり

軟式野球部一第2グラウンドに専用野球場あり。高校は県大会 優勝多数。全国大会出場、国体優勝

ダンス部一高校ダンス部選手権全国決勝大会出場

文化部

約4割の生徒が所属。100人を超える部もある。美術部、書道部、 科学部などは対外的なコンクールで高評価を得ている。

科学部 - 物理班、化学班、生物班、地質班、天文班、無線工学班、数学班の7班あり。170名以上。SSH活動の中心メンバーとなる。生物班: JSEC 高校生科学技術チャレンジ全国9位 | 無線工学班: 国内コンテスト4大タイトル制覇、ARDF世界大会出場

美術部一文部科学大臣賞など受賞者多数

書道部一書道展での受賞者多数

吹奏楽部一大所帯の部。定期演奏会は7月末。入学式、卒業式 など出番多数

室内楽部-11月に定期演奏会開催

合唱部一声楽専門の先生のもと練習に励む

ギター部一ギター演奏をじっくり楽しむ

演劇部一関東大会出場、はいすくうるドラマすべしゃる (俳優座公演) 参加

文芸部一冊子 「みずどりの羽 | を発行

写真部一全国総文祭連続出場

地歴部一つくば市内の水質調査など、地道な調査活動を実施

語学部一学年を越え協力し合って楽しく活動

同好会

落語研究会一落語好きが集まって日々研鑽

茶道同好会一文化祭、季節の茶会などの活動を実施

イラスト同好会一イラスト集を発行

ボランティア同好会一校内の行事などでさまざまなボランティア 活動を実施。校外活動も行う

コンピュータシステム同好会一生まれたての同好会。やる気満々





茗溪寮生活

さまざまな国や地域から集まってきた仲間との 規律ある共同生活が、一生涯の絆をもたらします。



携帯、マンガ、テレビなしの決して便利とはいえない環境が、 生涯忘れられない貴重な絆や体験を育む。

茗溪学園の寮生活は、規則により生 活の時間が決められています。

寮内では携帯電話やマンガは禁止 され、テレビもありません。不自由と もいえる寮生活ですが、工夫とお互い の協力によって充実したものへと変 わっていきます。

6年間の寮生活が、寝食をともにす る仲間たちとのかけがえのない絆や、 自分を見つめなおす視点、自立した生 活力をもたらします。

おもな施設・設備

部屋 2·3人部屋

フロア 20名前後の寮生を専門職員の1家族が住み込 みで指導(この基本単位をフロアと呼んでいます)

施設 食堂(完全給食)、浴場完備

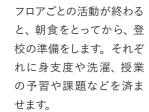
設備 給湯器、ウォータークーラー、ドライヤー、アイ ロン、冷蔵庫、パソコン、FAXなどをフロアに1~数台ず



朝は6時15分に起床し、フロアごとに掃除や朝の作業。 夜は18時が門限。夕食・入浴後は、「沈黙の時間」として個人勉強。

朝の過ごし方

起床時間は中学・高校ともに6時15 分です。点呼をして外の空気を吸って 目を覚まします。点呼のあとはフロア ごとに共用部分の掃除や朝の作業(草 刈りや落ち葉掃きなど) の活動をします。



放課後・夜の過ごし方①

寮生は通学時間がないので、部活に も学習にも全力で取り組むことができ ます。また、門限の18時までは、近隣 のスーパーやドラッグストアなどに買い 物に行くこともできます。

習いごとに通うことは制限されてい ますが、学校の「音楽教室 | を有料で 受講することができます。ピアノ、バ イオリン、フルート、ギター、声楽など を専門の先生に教わることができます。 練習には寮の防音室を使用できます。

放課後・夜の過ごし方②

土曜日以外は、毎日19時30分から 「沈黙の時間」として、中学生は2時間、 高校生は3時間、その名の通り静かに 個人勉強に励みます。集中した勉強時 間が取れることは、寮生にとって、学力 をつけるうえで大きな強みとなります。

寮では塾に通うことが制限されてい ますが、茗溪を卒業した筑波大生・大 学院生が週に数回、中学生にはどの教 科も無料で、高校生は希望者に有料で、 数学と英語の指導を行います。勉強の

> 質問のほか、定期テスト や進路の相談にも、身近 な先輩としてアドバイスを してくれます。



起床・点	7:00~8:00 射 支 变 ・	8:30~18:00 登校 · 授業	17:30~19:20 夕 食 · 入 浴	中学生	19:30〜21:30 沈 黙 の 時 間	就寝準備	22	2:00~ 就 寝
・朝の活動	S 交 交 交 交 交 交 全 交 全 交 全	部活		高校生	19:30〜22 沈 黙 の 時 間	:30	就寝準備	23:00~ 就 寝





通学生も「短期入寮」を体験。入寮中は座禅や寒稽古など 通常の授業では得られない価値ある体験を、全員で。

精神的、生活的交流を深め、規律あ る生活を学ぶ目的で、通学生も一定期 間全員入寮します。この「短期入寮」 中に、普段の授業では得られない総合 的・体験的学習の場として学年行事や 学級行事が計画されます。

中学1年生は、入学1ヵ月後に短期 入寮し、学習習慣をつける目的で、寮 生と同様に19時30分より「沈黙の時 間」(各自が勉強する時間)を体験、その ほかグループ学習会、交友関係を深め

るためのスポーツ大会などを行います。 中学3年での短期入寮では、12月の

国内研修旅行に向けて、座禅体験、研 修旅行活動準備などを実施します。 高校2年の2月に行われる短期入寮

では、大学入試に向けて心身ともに鍛

えることを目的に寒稽古を体験します。

男子はラグビー、女子は剣道を早朝か ら行い、気力体力

「短期入寮| 中学1年生(5月) 沈黙の時間体験/スポーツ大会 中学3年生(10月)

> 座禅体験/研修旅行下調べ 高校2年生(2月) 寒稽古/突寒ラグビー

日常的な「お茶会|「ビデオ会|から「寮祭|「クリスマス会|などの 一大イベントまで、寮独自の楽しい行事が目白押し!

を養います。

茗溪学園は行事が多いことで知られ ますが、寮独自の行事もたくさんありま す。入寮したてのころ、親睦を深める ために行う「筑波山ハイキング」、学年

> の先生と寮生でおやつ を食べながら語りあう 「お茶会」、寮生男女全 員で親睦を深める「ス ポーツ大会(バレーボー ルやバドミントンなど) |、 希望の多い映画を鑑賞 する「ビデオ会」などな

なかでも、寮生が一 番楽しみにしているのが

「寮祭 | と 「クリスマス会 | です。

「寮祭」は、7月初旬に行われる行事 で、夕方から学校の中庭でバーベキュー や花火をして夏を満喫します。また、有 志によるダンスやコント、演劇などのパ フォーマンスもあり、毎年学年の仲間た ちと試行錯誤しながら練習した成果を 発表します。

「クリスマス会」は、退寮する6年生 (高校3年生)を送り出すという意味合い があり、6年生への感謝の気持ちを込め て、有志がパフォーマンスを披露したり、 特別な食事やビンゴなどを楽しんだり します。後輩からの送辞、6年生からの 答辞、そして最後のキャンドルサービス



――寮生活を通じて頼もしく成長した6 年生との別れの時間は、毎年大きな感 動に包まれます。

一部の教職員家族も同じ寮内で生活。 「ハウスマスター」「ハウスマザー」として、きめ細かに毎日を指導。

茗溪学園の寮では、一部の教職員 も家族とともに寮に住み、「ハウスマス ター」として担当フロアの生徒たちの生 活指導や健康管理など、生活のあらゆ る面においてきめ細かな助言と指導に

また、教職員の妻は「ハウスマザー」

と呼ばれ、文字通り寮での「母親」的 存在として、担当フロアの生徒たちの 健康状態や精神状態をより細やかな視 点で観察・管理し、時には学園の担任 と連携を取りながら、生徒一人ひとり が健康な生活を送れるように細心の心 配りをします。



27

現在、大学や社会で自らの夢の実現に向けて

卒業生が語る学園生活

勉強、部活、たくさんの行事、 すべてに全力で挑戦した日々。

筑波大学医学類在学中 赤松 智太朗



現在、私は筑波大学医学群医学類で勉強をしています。 茗溪学園の特徴は、勉強に明け暮れるのではなく、勉強と さまざまな活動を両立できることです。部活動が盛んで、多 くの学生が部活動に参加しながら勉学に励みます。私自身は、 ラグビー部に所属し、全国大会にもレギュラーとして出場する ことができました。

文化祭などの年間行事や海外研修旅行などの学年行事が とても多いことも茗溪の特徴です。それぞれの行事は茗溪で しか体験できないものばかりです。高校2年で行う「個人課 題研究 | は放課後や長期休みを活用して、1年間自ら決めたひ とつのテーマについて調査、研究を行います。テーマに関す る実験を行ったり、大学の先生に助言をいただいたりしなが ら論文を完成させます。この研究は、大学の進路決定や社会 に通じる貴重な経験となります。勉強・部活・行事、そのすべ てに全力で挑戦できたこと――それが、茗溪での私のいちば んの思い出です。

勉強することのおもしろさを 見つけることができた。

東京大学在学中 中越 亜理紗



私は現在、東京大学駒場キャンパスに通い教養課程で学ん でいます。3年生からは本郷の文学部に進む予定です。

高校生活をふり返るとき、いつも茗溪で本当に良かったと 感じます。大好きな英文学について探究できた高校2年の 「個人課題研究」、EECクラスでのレベルの高い英語の授業、 オーストラリアへの海外研修旅行、臨海訓練での遠泳や剣道 の寒稽古など、ほかの学校とは比較にならないほどの幅広い 経験ができました。

茗溪では、勉強のおもしろさを見つけ、好きになるように努 力することの大切さを学ぶことができたと思います。他人のア ドバイスを参考にしつつも、自分に何が合うかは、自分自身で 試行錯誤して見つけなければならないと思います。家族はも ちろん、先生方、友人など、自分を支えてくれる人々への感謝 の気持ちを抱きながら、目標に向かってがんばること、そのこ とを、茗溪での6年間が教えてくれたと思っています。

世界を舞台にがんばる仲間は、 財産であり、今もよい刺激に。

語ってくれました。

邁進する茗溪の卒業生たちが、

他の学校では体験できない、

弁護士 米国在住 三輪 咲絵



茗溪を卒業して十数年。現在は日本を離れ、アメリカで生 活をしています。昨年まで、シカゴにあるノースウエスタン大 学ロースクールで、米国弁護士資格取得のための勉強および 研修を行っていました。

茗溪ならではの輝きに満ちた6年間について

私は、小学校時代をアメリカで過ごし、帰国後も英語を伸 ばしたいという思いがあって茗溪学園に進学しました。茗溪 では、授業だけでなく、「個人課題研究」を英語で書いたり、 大学などが主催するスピーチコンテストに応募したりと、英語 をさらに伸ばすためのさまざまな経験を積むことができました。 それらの経験を積んだおかげで、今も米国で不自由するこ

となく生活し、法律関係の仕事に携わることができています。 また、茗溪で出会い、ともに学んだ素晴らしい同級生たち の存在も、私の大きな財産となっています。

先日、同級生のひとりにアメリカで再会しました。自分と同 じように世界を舞台にがんばっている同級生がいるということ も、いい刺激となっています。

茗溪で培った失敗を恐れない 強い心が、今も自分の支えに。

刀剣作家 宮下輝(刀匠名:正吉) (22回生)

日本美術刀剣保存協会主催 「新作名刀展 | 2013年新人賞・努力賞受賞 2014年努力賞受賞、2015年努力賞受賞

私は幼いころから日本の伝統技術、中でも日本の刀に惹か れていました。茗溪の「個人課題研究 | でも取り組みたかっ たのですが、当時は取り組む方法がわかりませんでした。大 学に進むため群馬に行ったところ、偶然にも近くに刀鍛冶の 人間国宝の方がいらして、そこで本物の日本刀を見る機会を 得て、その方のご紹介で宮入法廣師に弟子入りし、約7年間 修業しました。その後は、つくばに戻り鍛刀場を開いています。

日本刀は優れた「美術品 | だと思います。装飾のついた海 外の刀剣と異なり、「鉄」だけで美しさを表現できるのは日本 独自のすばらしい美的感覚です。刀鍛冶の仕事の醍醐味は、 自分が思い描いたものを形にしていけるところ。苦労はあり ますが、茗溪で学んだ失敗を恐れない強い心をつねに持ち、 納得できるものを探求し続けたいと思います。

積極的に求めれば求めるほど チャンスを与えてくれる学校。

東京大学在学中 中根 絵里

私は茗溪学園に在学中、高校1年の3月からオーストラリア に10ヵ月間留学しました。留学中は楽しいだけでなく辛いこ ともたくさんありましたが、そこでのさまざまな経験は確実に 今の私の糧になっています。

帰国後、高校2年の「個人課題研究」では、オーストラリア に関する知識を深めることができるテーマを選びました。留 学や「個人課題研究」で抱いた興味、身につけた知識、そし てさまざまな人との出会いは、私にとって将来を考えるための 良い刺激になりました。

進学先に関しては、専門を決める前に多くの教養を学ぶこ とができる大学を選択しました。何を専攻したいのかゆっくり 考えることができる環境は自分にぴったりだと思っています。

茗溪学園における語学教育、留学のサポート体制、そして 進路指導があったからこそ、今の自分があると確信していま す。自ら積極的に求めれば求めるほど、さまざまなチャンスを 与えてくれて、自分の糧となるものが増えていく――茗溪はそ んな学校です。

海外へ羽ばたくための土台を つくってくれた自慢の母校。

UWC USA (2011年卒) / 米国マサ チューセッツ工科大学生物工学科 卒業/UCサンフランシスコ・UC バークレー連携大学院在学中 宮崎 光 (30回生)



茗溪での生活は私にたくさんの出会いと機会を与えてくれま した。キャンプ、部活動、文化祭などのさまざまな活動を皆で 作り上げる、その一体感や喜びが今も私の心に残っています。

入学当初、私は自分が海外にいくとは想像したこともありま せんでした。が、外国人の先生、海外帰国生の友人や留学帰 国生の先輩がいる茗溪の環境の中で、英語教育、文化交流を 体験し、さまざまな留学プログラムについての情報を得るうち に、自然と留学を身近なものに感じるようになりました。茗溪 は私に世界への扉を開けてくれたのです。

UWCやその後進学したMITで、世界一流の先生のもと、 世界各地から集まった志の高い才能にあふれる学生とともに 切磋琢磨して学ぶことは、大変貴重で刺激的な経験でした。 現在は、世界のより多くの人の生活を医療研究、治療開発の 面から支えていきたいという思いから、生物工学を学んでいま す。茗溪は、海外へ羽ばたくための私の土台を作ってくれた 厳しい状況の中でも目標を やり遂げたことが自信に。

農林水産省勤務 佐々木 優



私は現在、農水省の出先機関で農業用水路の工事現場監 督をしています。農業分野で人の役に立つ仕事がしたいと思 い現職を選びましたが、そのきっかけは茗溪学園で学んだこ とにあります。

高校の社会科の授業で、世界には食料不足に苦しむ人々が たくさんいることを知り、そのような人々の役に立ちたいと思 うようになりました。

高校2年で取り組んだ「個人課題研究」ではその実現に近 づくため、食料生産が困難な乾燥地での農業技術について研 究しました。茗溪卒業後に進んだ大学・大学院でも同分野の 研究を深めて、現在の職に就いています。

中学・高校を通じて所属したテニス部での経験や高校1年 のときの臨海訓練など、厳しい状況・環境の中でも目標に向 かって進み、やり遂げたことが、今でも私の中で自信につな がっています。

そして、もちろん、それらのことは素晴らしい思い出となって、

自分の長所をそのまま伸ばし、 英語力も向上させられる環境。

NHK 国際放送局 キャスター 鈴木 美貴子

NHK WORLD

「自分らしさ」を大切に、それぞれの才能をそのまま伸ばせ る学校、それが茗溪です。中学生の時に米国から編入した私 は、どちらかというと異色な存在でした。そんな私でも仲間を 見つけられたのは、それぞれの個性を発揮できる環境があっ たからだと思います。ユニークな学校カリキュラムの中で、勉 強以外にも、運動や芸術などあらゆる分野で活躍する同級生 から刺激を受けて過ごしました。

また、帰国子女の私にとって、茗溪には英語力をさらに向上 させることができる環境がありました。英語スピーチコンテス トでプレゼンテーション力を高めたり、「個人課題研究」で日 本の小説を英語翻訳する研究等を通じて、自信を深めること ができました。

上智大学に進み、卒業後はNHK仙台放送局で3年間キャ スターを務め、現在はNHK国際放送局で「英語で伝える」仕 事に携わっています。ありのままの自分のカラーを伸ばせた 学園生活とそれぞれの長所を尊敬し合える仲間が、いまの自

29

自慢の母校です。 今も私の心の中で輝き続けています。 分につながっています。

nool Events

おもな年間行事

研究学園都市施設見学 クラブオリエンテーション

ユニークで多彩な活動が目白押しです。

茗溪アイデンティティを確実に培うための、



プール開き 桐創祭(文化祭)

中1短期入寮 高3大学訪問

教育実習(3週間)

入学式

クラブ合宿(前期) 受験補習(前期) 水泳特別指導

芸術鑑賞 サマースタディゾーン

寮生ハイキング

父母会総会

生徒総会

クラブ合宿(後期) 受験補習(後期)

中1さしまキャンプ 中2筑波山キャンプ

高1巡検 高2海外研修旅行 中3短期入寮

理科巡検 生徒会役員選挙 茗溪学園美術展

中2英語劇 生徒総会

中1英語劇 中3国内研修旅行 北風祭 (球技大会)

> かるた大会/書き初め 凧あげ大会 中学校,高等学校入学試験

中1・中2合唱コンクール 中3クロスカルチュラルトーク 高2短期入寮/寒稽古

校技大会 六送会 卒業式

30







スキー教室 ウィンタースタディゾーン

個人課題研究/SS研究発表会





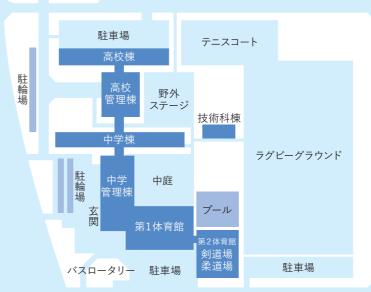


施設案内

特色ある茗溪の教育プログラムを 充実した施設・設備が支えています。







第2グラウンド (野球場およびサッカー場)は、上図 敷地から南に約500メートルのところにあります。



校門(正門)・バスロータリー付近





野外ステージから見た高校棟(右)と中学棟(左)













第2グラウンド (野球場・サッカー場)

新しい校章のデザインについて





これまでと同じ「五三の桐葉型」ながら、筑波大学の校章と同一のデザインになり、筑波大学同窓会によって設立されたという本校の出自や筑波大学との関係性を明確に表すものとなりました。色は若々しい印象のブルーとし、呼称を「Meikei Blue」と定めました。2015年4月から使用。

新しい校名ロゴについて

Meikei High School

学園の名は、設立主体である筑波大学同窓会「茗溪会」にちなんでいます。茗溪とは、筑波大学の前身、東京師範学校の誕生の地である東京都お茶の水付近を指す雅称(風流な呼び名)です。2015年4月、学園の教育の大きな特徴である国際性を明快に表現するため、新たに英文表記のロゴを定めました。

新しいスクールモットーについて

Meikei — Making the Difference

茗溪学園の教育方針を端的に示すスクールモットーも新たに制定しました。 茗溪学園では、生徒一人ひとりの個性を尊重しながら、その素質と能力を発展させる独自の教育プログラムを行っています。 そのプログラムによってもたらされる、他では味わえない特別な6年間の体験を簡潔に表現しています。

学校見学・オープンキャンパス 日程

オープンキャンパス	5月 7日 10:30~12:30 小学6年生対象 *要予約
海外生・帰国生説明会	6月25日① 10:30~12:30 海外生・帰国生対象 *要予約
高校学園説明会	7月 9日 10:30~12:30 中学生対象 *要予約
高校入試説明会	9月 3日 10:30~12:30 中学生対象 *要予約
学園説明会(中学高校入試説明会)	10月22日金 14:30~16:30 主に父母向け *要予約
茗溪学園文化祭	6月11日金・12日圓 10:00~16:30 *予約不要
吹奏楽部 定期演奏会	7月 29日金 開場 16:30 * ^{予約不要} 開演 17:00
茗溪学園美術展 (会場:つくば美術館)	10月 25日②~10月 30日圓 9:30~17:00 (最終日は14:00) *予約不要

スーパーサイエンスハイスクール指定校



国際バカロレア(IBDP)候補校

スーパーグローバルハイスクール・ アソシエイト指定校



茗溪学園中学校高等学校

お問い合わせは広報企画部へ

- ▶ TEL.029-851-6611
- FAX. 029-851-5455
- ► E-mail [説明会・学校イベント] kouhou@meikei.ac.jp
- ▶ E-mail [入試問い合わせ・学校見学等] entry@meikei.ac.jp
- ► WEB http://www.meikei.ac.jp

^{交通アクセス} 〒305-8502 茨城県つくば市稲荷前1-1

